



ヤマザクラ

2014 年（平成 26 年）4 月 20 日（日）発行

思 い 出

金子 喜弘

平成 13 年「うつくしま未来博」森のネイチャーツアー&森の学校が開催され、7 月 7 日開催初日の奉仕スタッフとして参加をしました。

風の森コースは下から一望できる山道でした。最初に案内をしたのが 3 名で私達が「ボーイスカウトの関係者ですよ」と自己紹介すると道中の途中で「ロープワーク」の指導をする事に成りました。



福島民報に掲載のロープワーク

その他色々な人たちや小中学生が来てくれて賑わったコーナーでした。

9 月末に未来博も終了しスタッフとして参加のいわき市民有志として参画させていただいたのが「いわきの森に親しむ会」です。

話は変わりますが私のボーイスカウトとの出会いは昭和 52 年にいたずら盛りの長男息子をカブスカウト隊員として横浜 93 団に入団したのがきっかけで、私も団の役員として入団登録、各種指導者訓練を経て指導者に成り、横浜から兵庫・千葉・岡山そして平成 2 年に現在のいわき市に落ち着きました。

平成 9 年に中央台を中心に活動をする新団を設立し、最初の親しむ会関連の行事に参加をしたのが平成 14 年 7 月「海の観察会」永崎海岸でした。その後いわき伝承郷で開催の「間伐とホダ木移動」

や「観察会」への参加。平成 15 年 12 月 23 日開催の 21 世紀の森で山火事跡地第 1 回目の『植樹祭』に参加、以来定例行事として現在まで団の行事としています。

また、湯の岳山荘に活動基地が決まってからは広場でのキャンプ訓練、パイオニアリング訓練、観察会への参加、恒例の「クリスマス会」など団行事の教場としています。

また、いわき地区「キャンポリー」、昨年は福島県派遣団の日本ジャンポリー事前訓練も実施をしました。

今年秋にボーイスカウトの団運営上級



第 1 回 21 世紀の森「植樹祭」?

訓練会の会場として山荘を借用予定です。最後に日常業務として「湯の岳山荘」の日直をさせて頂いて居ますが、今後も楽しく、安全に会の皆さんとお付き合いができれば幸いです。

森林整備班の活動

桑原敏和

2月～3月にかけて、いわきでは異常と思われるような降雪と強風に見舞われ被害をうけました。

その復旧作業であるビニールハウスの修理・除雪・倒木処理作業等がありました。

また、プロ野球の森で伐採し処理に苦慮していたモウソウ竹の約8割をチップパーで処理することが出来ました。



2/12. 山荘通路除雪風景



3/12. ビニールハウス修理風景



3/19. モウソウ竹のチップパー処理風景

定例整備活動一覧表 (H26.1.22～H26.4.16)

月/日	曜	実施事項	名
1/22	水	クヌギ伐倒木の玉切(管理道路)	4
1/29	水	玉切材(薪用)運搬・薪材の整理	3
2/5	水	ビニールハウス内部改造調査他	2
2/12	水	山荘への通路除雪	5
2/19	水	岩出整備準備、倒木処理(コース1)	5
2/26	水	クヌギ伐倒木の玉切(管理道路)	4
3/1	水	スギの倒木整理	3
3/8	水	臨時整備、観察1コースエリア笹刈	2
3/12	水	ビニールハウス修理	5
3/17	月	プロ野球の森、竹材のチップパー処理	2
3/19	水	〃	6
3/26	水	観察1コースエリア笹刈	4
4/2	水	〃	4
4/5	土	クヌギ伐倒木の玉切(管理道路)	3
4/9	水	海岸林再生箇所地拵	6
4/16	水	クヌギ伐倒木の玉切(管理道路)	4
計		森林整備参加延人数	62

目次 (主な内容)

P

思い出 金子喜弘 1

森林整備班の活動 2

プロ野球の森整備状況
海岸林の再生整備
岩出地区カタクリ自生地整備活動

木工クラブ班の活動 4

農作業2014年春の活動報告 5

新規の参加者紹介

プログラム勉強会グループ活動 6

いわき市立小学校学習支援活動
森の環境教室学習支援・江名小学校
総合学習支援・上遠野小学校
総合学習発表会・錦小学校
生活科学学習支援・平第六小学校
その他学習支援活動
共催事業

ろうきん森の学校 9

自然案内人養成講座 10

こどもが自然と遊ぶネット主催事業 11

湯ノ岳山荘の利用状況について 11

「プロ野球の森」 整備状況

H26.4.5 佐藤行年

整備する前は常緑樹や低木、中高木で暗く安心して歩けるところではなかった。

2年前から夏場の6ヶ月をのぞき、毎月の木、金を整備の日として最初はチェーンソーでの杉の皆伐200本以上処理する。

その後は手ノコ、鉋で低木類のアオキ、ネズミモチ、リョブ、ウルシ、アセビ等整備しました。手ノコ、鉋で処理できない10cm以上の樹木は小型のチェーンソーで処理した。

また我々で処理できない大経木や危険を伴う場所はプロにお願いしました。

みんなの協力のおかげで見違えるほどスッキリし、尾根から下の道路、下から尾根が見えるようになりました。基本的に山桜、実のなる木はこのこしてあります。

スッキリさせる整備は今回で終了しました。整備作業日数・参加人数は

2月＝7日・17人、3月＝5日・9人
合計12日26名でした。

道路から森を見上げた風景



整備前

整備後

常緑樹の除伐により、放射線量の低減と尾根が見えるようになり、散策者等が確認出来る明るい森に変化しております。

プロ野球の森における放射線量が子供達には若干高い場所があったためスギの皆伐とアオキ等の常緑樹を除伐した結果、公園としての利用基準を十分クリアすることができましたので、これからは、野球少年を含む多くの市民にも参加してもらいながら整備していきたいと思っております。

具体的な整備計画は市民参加の下に決めています。26年度最初の行事として5/17(土)にはタケノコ退治を中心とした竹林の整備を行うことにします。(松崎)

プロ野球の森森林整備について (佐藤)

本会のメンバーによる整備は、毎週(木)(金)曜日に実施しております。自由に参加下さい。但し、湯ノ岳山荘に問い合わせ願います。

海岸林の再生整備

松崎和敬

うつくしま21森づくりネットワークの第1回海岸林再生整備事業を1/25～1/26の両日、新舞子海岸において行われました。

1/25には地拵え作業を行ない1/26にはクロマツの植樹をおこないました。

1/25夜には湯ノ岳山荘において海岸林の整備について意見交換会を行い今後も継続して森づくりネットワークとして取組んでいくことになりました。

2014.1.1～2014.4.9の参加者数は次のとおりです

月/日	本会含むト チギ環境	森づくりネ ットワーク	ボラン ティア	計
1/25	10	12	7	29
1/26	11	8	17	26
3/2	5	-	5	10
3/3	3	-	-	3
3/21	5	-	-	5
3/30	6	-	8	14
4/8	6	-	15	21
4/9	6	-	15	21
計	52	20	57	129

1/26 参加者と植樹するクロマツの苗木



3/2 地拵え作業(チップパーで処理作業)



岩出地区カタクリ自生地整備活動

1.日 時 平成 26 年 2 月 23 日 (日)
9 : 00 ~ 12 : 00

2.参加者 35 名

○昼食時に熱いキノコ汁が準備されました。

3.整備結果 (2 月 19 日 (水) 選木作業を実施)
(1) 広葉樹の株立整理、抜き切り・笹刈作業を実施しました。また、雪害による枝折れや倒木の一部を処理しました。



株立整理・抜き切り・笹刈作業スナップ

(2) 森林整備により林床が明るくなり、カタクリの観察がしやすくなりました。

しかし、同時にササの生育環境も向上、急速に繁殖その面積を広げており林床の植生が心配となりました。

今後の森林整備は、ササの刈払いを含めた整備を進める必要があると思われます。

今年のカタクリ 4/19 (土) 撮影



ヤマブキ 4/19 (土) 撮影



木工クラフト班の活動

桑原敏和

今回は一品について確実に作り上げることを目標にした。参加者は、作品の活用を思い楽しい時間を過ごした。

木工クラフト班活動一覧表 (1 月 ~ 4 月)

No	月/日	曜	木工クラフト 実施事項	参加人数
1	1/7	火	第 1 回目 おぼん作り	10 (2)
2	1/21	火	第 2 回目 おぼん作り	10 (2)
3	2/4	火	第 3 回目 おぼん作り	8 (2)
4	2/18	火	第 4 回目 おぼん作り	8 (2)
5	3/4	火	寿司台作り (一部トトロ人形作り)	10 (1)
6	3/18	火	寿司台作り	9 (2)
7	4/1	火	寿司台作り	8 (2)
8	4/15	火	寿司台の仕上げ (花見寿司で台完成祝い)	12 (2)
計			参加者 指導員	75 (15)

参加人数覧 () 内数は指導者人数



寿司台作りに挑戦



寿司台の完成を祝い花見寿司とした

農作業 2014 年春の活動報告

農作業班 太田 満

1. 畑の寒起こし作業等

昨年暮れから続き、畑の荒起こしを行いました。
スコップで土を天地返して、籾殻を土に混ぜます。

1/11、1/13、1/20、1/27



天地返し（籾殻を土に混ぜる）

2. 落ち葉かきと温床作り

1/25 に湯ノ岳山荘奥の観察道で落ち葉かきを行い、軽トラ 1 台分の落ち葉を畑に運搬しました。

2/22 に落ち葉を使用して踏み込み温床作りをしました。



落ち葉かきと運搬



落葉床



種サツマイモ

そして、3/2、温床にさつま芋の種イモを伏せました。（苗作り開始）

3. 植え付け、種蒔き作業

2/24、タマネギ苗の定植、3/17 長ネギの種蒔き。
3/22、じゃが芋の種イモを植え付ける作業を行いました。



定植の準備作業



定植作業

4. その他

- ① 2月に降った大雪により、ビニールハウスが倒壊した。ハウスパイプの撤去や整理をしました。今後再建の予定です。
- ② 1月にブルーベリーの枝の剪定をしました。
- ③ 2月、イノシシ避けフェンスの補修作業を行いました。

*** 新規の参加者紹介 ***

今回は、去年の秋から農作業に参加された女性 2 名の紹介です。

森の学校の行事にも参加している、円谷さんと宮下さんです。



左から、円谷さん、& 宮下さん
(MM'Sファームの看板の前に)

笠石の畑でいろいろな野菜を作っています。

プログラム勉強会グループ活動

野口 ミツ子

冬芽が膨らんだと思ったら樹木の芽吹きヤマザクラの芽鱗も膨らみ各地で咲き始めました。

自然の贈り物に感動を得ながら子供達と共に「気づき」「発見」「体験」の喜びを共有できることは自然をもっと理解し、自然に親しもうという意欲が生まれます。

4月は子供達にとっても新学期の始まりです。五感をつかってどの様な自然体験ができるか今後の活動が楽しみです・

1. いわき市立小学校学習支援活動 (1月~3月)

月日	学校名	学年	学習	参加者	支援者
1/20	江名小学校	4	森の環境教室 事前学習支援	31	4
1/22	〃	5	〃	21	8
1/23	〃	4	森の環境教室 学習支援	32	8
1/24	〃	5	総合学習発表会	21	6
1/30	上遠野小学校	3	総合学習支援	33	8
2/10	〃	4	総合学習発表会 準備支援	34	2
2/13	中央台北小	4	総合学習支援	56	8
2/14	錦東小学校	3	総合学習 発表会 事前学習支援	28	2
2/17	田人第2小	全	冬の学校林 探検	11	5
2/20	上遠野小学校	3・4	総合学習 発表会	67	7
2/27	平第6小学校	1	生活科学習支援 下見調査 事前準備	-	9
3/5	錦東小学校	3	総合学習 発表会	58	7
3/12	中央台北小	4	総合学習 発表会	56	2
3/14	平第6小学校	1	生活科学習 学習支援	45	8
3/20	田人第2小	全	閉校式	200	9

○主な4校について詳細を記載します

(1) 森の環境教室学習支援 若森秀樹

江名小学校 (4年生 32名)

1. 実施 平成26年1月23日(木)
2. テーマ 森の仕組みの観察
3. 観察内容

- ①里山・里道の観察体験 (観察コース1,2)
森の観察は初めての児童が殆どで、見るもの触れるもの珍しく、楽しい驚きがいっぱいでした。



エビフライを発見 (リスの巣はどこか?)

- ②川の水源・湧水の観察

棚田跡の湧水を観察、ホンの少しの水が集まって、川の大きな流れになる事を観察した。



湧水の観察

- ③林内の落葉の観察

落ち葉の朽ちる変化を、並べて観察・スケッチし、落ち葉が土に還る変化や見つけたもののスケッチし観察しました、ついに森が健康に育つ糸状菌を発見しました。



落葉が土に還る変化をスケッチ

(2) 総合学習支援 若森秀樹

上遠野小学校 (3年生 33名)

(総合学習支援で年間5回実施。三学年児童 32名)

1.実施 平成26年1月30日(木)

2.実施事項

① グループの木と冬芽・葉痕の観察・スケッチ。



グループの木の観察後、冬芽や葉痕の観察

木々は既に春の準備をしている事を観察、寒い冬でも森の木や生き物は頑張っている事を理解した。

② 森の木や森の土の大切さを見る実験。



森の土(森林褐色土)の保水性や吸着性をみる実験

土壌の3層構造(B、BC、C層)山と裸山を作り雨を降らせ山の表面を観察し比べる実験をして森のはたらきを確認しました。

季節は冬寒い日でしたが、元気に実験を終えることが出来た。

(3) 総合学習発表会 若森秀樹

錦東小学校 (3年生 58名)

1.実施 平成26年3月5日(水)

2.テーマ

グループの木のスケッチと、自然観察

3.支援内容 本年度、春から5回にわたり、6班に分かれ自分たちの木の観察を続けてきました。そのまとめの発表会が、父兄を招待して行われました。

克明に調べた力作ぞろいで、私たちも知らないことが一杯ありました。



発表風景



観察をまとめた展示品

各班の観察(グループの木の愛称と樹木名)

- 1班: かさの木(ユズリハ)、
- 2班: きょだいな木(ケヤキ)、
- 3班: 花さくちゃん(サクラ)、
- 4班: きつねの木(イチヨウ)、
- 5班: 青木(アオギリ)、
- 6班: つるつるの木(ナツツバキ)。

最後に、森の大切さを調べる実験を行いました。(森林の保水の実験等)

その後児童代表より学習支援へのお礼の言葉がありました。充実した学習支援でした。

(4) 生活科学習支援 若森秀樹

平第6小学校（1年生 45名/2クラス）

1. 実施 平成26年3月14日（木）
2. テーマ いわき万本桜の山探検
3. 支援内容

同校は今回が初めての支援で、万本桜プロジェクトの遊歩道を一緒に歩きました。

雨上がりのぬかるみもあり、ややハードでしたが、全員楽しく探検を終えることができました。

26年度から本格的に支援予定です。

4. たんけんの一部を紹介します



学校裏の稲荷神社からスタート



万本桜の看板の前で記念撮影



広場で班毎に自分たちの木を選んで、観察とスケッチ”

2. その他学習支援活動（1月～3月）

- (1). 湯本第一幼稚園年長組

平成26年1月16日木育学習支援活動を実施致しました。参加者16名を9名で支援。

- (2). 福島こひつじ幼稚園

平成26年1月28日国土緑化推進機構「森の教室」の支援活動を実施しました。

参加者25名を3名で支援。

- (3). 田人環境資源を活かす会の支援活動

- (1) 環境資源調査

a. 1月9日（会員11名、支援2名）

b. 1月15日（会員6名、支援1名）

- (2) 環境資源調査確認作業

a. 2月6日（会員8名、支援1名）

- (3) 環境資源調査まとめ

a. 3月27日（会員10名、支援2名）

- (4). いわき明星大学学校林整備・調査支援

実施（月）	実施（日）	支援者（延人）
1	10・17・21	10
2	7・21・25	11
3	3・7	2

- (5). 筑波大学大学院生命環境科学研究科

3月16日 湯ノ岳「森林土壌調査」は終了、資材等撤去作業を支援。学生4名、支援1名。

3. 共催事業

- (1). NPO 法人 いわき環境研究室

月/日	内 容	支援者
1/9	ESD 環境教育プログラム	3
1/10	”	3
1/19	いわき地域環境科学会発表会	2
1/21	ESD 環境教育プログラム	4
2/1	東北地方発表会	3

- (2). 磐城流域いわき地区林業活性化センターと本会の共催事業として「平成25年度林業活性化講演会」が開催されました。（受講者44名）。



大野航輔氏

講演内容画像の一部

ろうきん森の学校 (平成 25 年 10 月～12 月)

若森秀樹

1. 平成 26 年 1 月 19 日 (日) (晴)

(1) 実施内容

天気は強風で寒い日で参加者は大人のみで、予定を変更、丸山公園西側の栗園跡地の整備状況や筑波大学の実験林等を見学、森林内を散策しました。

散策の途中ヤブツバキの群生地あり、花は 2～3 分咲き、満開が楽しみ。

(2) 参加者 11 名

(3) 野外料理体験 (お好み焼き、キノコ料理)



沢を越え広葉樹林・針葉樹林 (杉) を散策

2. 平成 26 年 2 月 16 日 (日) (曇)

(1) 実施内容

①森林整備体験 ②野外料理体験

(2) 参加者 13 名

今回は労金連合会 (東京) から 4 名の方が参加されました。

(3) 実施結果

①森林整備体験

雪の被害を受けた樹木、杉林に侵入が予想されるモウソウ竹の伐倒・玉切・整理作業を体験する

②野外料理体験

昼飯にキノコご飯と絶品味のキムチ鍋が。



雪害で被害を受けた松の倒木の処理

3. 平成 26 年 3 月 16 日 (日) (晴)

(1) 実施内容

①山菜探しと自然観察会②キノコ植菌体験
③野外料理体験。

(2) 参加者 16 名

今回は、昨日から来訪の、筑波大学の田村先生 (土壌学) と学生さんも参加されました。

(4) 実施結果

①山菜探しと自然観察会

久しぶりの暖かい日差しの中観察コースを歩きました。

◎山菜の主なものとしてツリガネニンジン (地元ではトトキと言われております)。フキノトウは今が食べごろ、沢山採れた。キクラゲを採集しました。

②キノコ植菌体験

(放射線被害の無い県外産原木を使用)

シイタケ植菌を行いました。原木に穴を開け菌の付いたタボを打ち込み、原木の仮伏せまで行いました。

③野外料理体験

本日の目玉は、お好み焼き。自分の好みに焼いて食べました。



フキノトウ

ツリガネニンジン (ト

トキ)



自然案内人養成講座 若森秀樹

実施月日 平成26年3月22日(土)～
3月23日(日)

会場 湯ノ岳山荘

講師 日本自然保護協会 時田先生

受講者 14名(支援者 延4名)

講座の要旨

日本自然保護協会の時田恵先生を南アルプス市からお招きし、二日間にわたり自然案内人養成講座を開きました。午前中はじっくり時間をかけた野外実習、午後は室内で”自然の観察”の講義を受け、自然に親しみながらその仕組みや働きを知り、自然保護の心を育てる指導法を学びました。

1日目(3月22日)

○知っていることを教えるのではなく、興味を持たせるような問いかけや、体験が必要。

実習：一本の松の木をじっくり観察し、話題が尽きるまで発表します。

まず、マツボックリの観察。殻の形や種子、水で閉じることなど。

次いで、松葉の観察。並べて本数や長さを調べ、松葉の断面、黒松(2本葉)は半円形。導管も観察できます。では、五葉松の断面は？更に、松の用途、生き物探しなどへ発展。



あらゆる角度から観察

に落ち葉の観察について。虫食いの穴も色々。食されない葉と問題を深めていく。



落葉の観察

午後：なぜ自然観察をするの？その効果、自然の見方を受講。

2日目(3月23日)

○桜の木観察～冬芽の観察～生き物探し。

実習：桜の観察、もう直ぐ開花、花芽は葉芽が変化したもので1個の花芽の中にたくさんのお花がある等を観察、樹齢の数え方や桜の木の用途、蟻と蜜腺等に観察話題は尽きない。



桜の木の観察。

次に冬芽、葉痕の観察。フジ、アジサイ、クズなど面白顔色々。何に似ているか名前を付けるのも面白く印象に残るだろう。

生き物探しについて。見つけた生き物は地図上に記入。10種も観察することができました。



樹齢の数え方、桜の木の用途等

まとめに、自然保護の意味、指導法、指導者のあり方などの講義を受けました。



屋内での講義

子どもが自然と遊ぶ楽校ネット主催行事

里山の自然（日帰り体験） 若森秀樹

- 1.実施 平成26年1月18日（土）
- 2.場所 湯ノ岳山荘フィールド
- 3参加者
小学児童6名と保護者1名（参加者の母親）

4.実施内容

①自然観察

ゲームで始まり森を観察、葉を探し、森の生き物に触れ、湯ノ岳の成り立ちをガイド版で勉強しました。



ガイド版で勉強（湯ノ岳の成り立ち）

②野外料理体験

石窯料理をアルミ箔の包み準備から石窯へのピザ焼きを体験する。石窯で焼いた苦手の野菜も食べられました。

また、薪で炊いた釜のご飯を頂きました。



ピザを石窯に入れる

③ネイチャークラフト体験

子ども達の思いもよらぬアイデアに驚かされました。



ネイチャークラフト作り

湯ノ岳山荘の利用状況について

池野上幸弘

山荘の利用状況を簡単にご報告します。

25年度の山荘利用者数は2,481名でした。
（山荘宿泊者等：979名・広場利用者：550名、
研修室利用者：952名）前年比約14.5%減です。

24年度の山荘利用者数は2,597名でした。
（山荘宿泊者等：995名・広場利用者：724名、
研修室利用者：878名）

宿泊者はほぼ前年とおりでしたが、広場利用者（バンガロー利用者含む）14.2%減です。

バンガローは一戸建ての5人用が8棟、2部屋で1棟になっている4人用バンガローが2棟ありますが、昔の作りで水道やトイレが室内に無く、外部設備となっているので、今一つ利用度が上がりません。

平成26年2月は昨年同様水不足が発生し、ご利用されている方々にご不自由をおかけいたしましたして申し訳ありませんでした。

湯ノ岳山荘

冬（2/9 湯水なのに記録的な積雪40cmあり）



春（4/5 撮影、桜3分咲き今年は期待できる、昨年は鳥の被害あり無残な花だった）



湯ノ岳味噌作り体験 菅野貞夫

今年で4回目となる手作り「おいしい味噌作り体験」を4月6日(日)～7日(月)に菅野喜久枝、松本澄江さんが中心となって挑戦しました。

11月半ばには熟成出来上がりますので、例年通り、1kgビニール袋詰め味噌を販売いたしますので、お楽しみにお待ちください。

(料金は材料費+αで計算します)

○今回の材料は

・大豆 30kg ・麴 24kg ・塩 17kg

○味噌作り作業日程

- 1) 4月6日(日)・準備作業 参加者 8名。
・作業内容：大豆の水洗い作業、大鍋・ガス台の設置・配管作業、味噌樽の準備、材料の麴・塩の配分作業。
- 2) 4月7日(月)・本番作業 参加者 9名
・午前中：大豆を煮る
大豆を5個の大鍋で、アクを取りながら焦がさず足し水・攪拌しながら3時間半から4時間ひたすら煮る。
・午後：煮た大豆を磨り潰す
柔らかくなった大豆を機械にかけて磨り潰す、これが中々の重労働。
大きめのボールで磨り潰した大豆・麴・塩を良くかき混ぜる。これを、味噌樽に空気を混ぜないように入れる。
また、樽の中で、カビが発生しない様に空気を遮断することが注意を要する。
樽で11月半ばまで発酵・熟成させる。

※今回の仕込みは、大豆・麴などの材料が良かった事と、お手伝い下さった方々の愛情と言う調味料が入っているので、今までになく美味しい味噌が出来ると思います。

お知らせ

第十回通常総会の案内

一・開催日時

平成二六年六月八日(日)
午後一時三〇分～

二・会場

湯ノ岳山荘 研修室

右記の通り総会が開催されますので多くの方々のご出席をお待ちしております。

編集後記

会報の編集を担当してから山桜が気になっています。

湯ノ岳山荘周辺にも気になる山桜が数多くあります。

それぞれ微妙に花の色や大きさ・葉の色に違いがあります。

それぞれが、いい花だと思っております。

この花の違いは、山桜は同じ木に咲く花同士で受粉しても結実しないと聞きました。

出来るだけ遺伝形質の異なるほど結実しやすいとの事です。そのため、山桜は個体差が大きく、花びら大きさや形、花の色、葉の色、樹皮等木に違いが出るのだそうです。

山荘付近の山桜も木によって花の色、葉の色が違います。

そして開花日にも違いがあり長時間楽しめるのも山桜です。

本会では、山火事跡地等に、緑化と将来の花を思い植樹した山桜が沢山あります。

今春、花を付けた木がは始めました。これから毎年春の山桜が楽しみです。

(伊藤)

(発行) NPO 法人いわきの森に親しむ会
(発行責任者) 松崎和敬 (編集担当者) 伊藤貞夫
(事務局) 〒972-8326 いわき市常磐藤原町湯ノ岳2
湯ノ岳山荘内

TEL/FAX 0246-44-3273

E-mail:yunodake@gray.plala.or.jp

HP:http://iwaki-mori.jimdo.com/